

おそき DE 7千田舎暮らし・子育て HAPPY 事業 進捗状況

一般財団法人地域活性化センター平成27年度移住・定住・交流推進支援事業として進めている今年度の考える会の事業。今号でも紹介した通り、ここまで順調に進行しています。

未紹介内容をいくつか紹介すると・・・ここから本格的に動くのが小曾木地区ホームページ作成。先日、ホームページ掲載用の小曾



岩蔵温泉での撮影

木地区PRビデオ撮影も終わりました。地域の方々に出演いただき、地域・観光・保育園・学校・移住など様々な面から準備してのプロによる撮影です。

また、小曾木地区に若年層を呼び込むための今年度の新企画イベントがおそき DE 恋活(れんかつ)プロジェクト。小曾木地区を舞台に合コンでは軽すぎる、婚活では重すぎる、恋活がちょうどいい！をテーマに恋が芽生えそうなイベントを企画しています。知り合いを通じて輪を広げる展開で、定期的な開催を目指しています。

そしてここまでの動きの中で一番難しく感じているのが空家対策。今年は移住希望の方と一緒に地域を回り始めました。2年前の青梅市調査の時点でも小曾木地区には71棟の空家がありました。所有者側には、家への思い出がいっぱいあり、相続の問題もあり、金額の問題等々も。借りたい買いたい側にも、金額の問題、田舎なら古民家希望、女性が嫌がらない水回り等々。なかなか簡単ではないのが実情です。

10月からは青梅市、青梅市住宅施策推進協議会と考える会の協働でおそき空家バンクを始めます。難しい手続きは、安心して任せられる事業者をお願いして、お持ちの空家を賃貸または販売することでの地域貢献を、ぜひお願いいたします。詳細は、青梅市ホームページ、青梅市住宅課(電話22-1111内線2533)、考える会事務局若林(電話090-2173-9267)でご確認ください。

他にも空家対策ワークショップで出された意見をもとに、自転車の駅、小曾木で様々な体験を行う際の活動拠点、地産の品物の販売拠点など地域に人が来くなる方策の実現へ向けて準備を進めています。

飛び出せ！サイエンスキッズ！

闇に隠れた昆虫を捕獲せよ！

8月3日(月)夜に小曾木市民センター付近の野山で青梅市社会教育課と(公財)青梅佐藤財団の共催による「ライトトラップで昆虫たちを捕まえよう！」というイベントが開かれました。ライトとバナナのトラップには、昆虫が集まりました。



かぶと虫(オス)



ミヤマクワガタ(オス)

◎「おそき一斉メール」に登録を！！

地域情報を週1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。

下記アドレスに空メールを送ると登録できます。

osokinogakkou@gmail.com

◎ ブログで地域情報の発信をしています。

「おそきだより」よりも詳細で早い情報の発信となっています。[おそきの学校](#)で検索できます。

◎ おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いいたします。



1面表題脇のアカゲウを撮影した乙黒耕地紹介

東京の里山、青梅市富岡地域の成木川沿いに江戸時代から続く田んぼが広がっており、今もお米が作られています。成木川沿いには多くの自然が残され四季おりおりの野山の鳥、水辺の鳥が見られ、バードウォッチングでは70種類もの記録があります。

編集後記

「おそきの学校と地域を考える会」の前身、「おそきの学校の今後を考える会」が設立されて5年が過ぎました。初期には1年間考える会を進めてみて、継続するか解散するか決めることにしていましたが、時代の求める「協働」とも活動内容が合致し、考えるとともに行動する会へと変化しました。

初期からこの「おそきだより」は考える会の活動の核と考え、このたよりを第1に、「おそき一斉メール」、「小曾木地区紹介ブログ」そして「地域回覧」

を通じて地域情報の共有に努めています。

そして今号掲載の通り、今年12月中には地域PRを強化するホームページが完成予定です。青梅市と協働で行う空家対策で住める場所を確保し、小曾木地区の良さに共感する方に移住いただき、温かく迎え入れ、地域の子どもの減少が止まり増加に転じる。第12号に掲載した通り、ここ10年で若者、子どもの40%の減少がありましたが、これからの10年にそんな夢を描きながら、子ども達とのクワガタ取りを、岩蔵温泉を、山でのハイキングを自分も楽しんでいきたいと思っています。(若林良弘)